

# CASBEE®広島

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	明治安田生命広島ビル	階数	地上14F
建設地	広島県広島市中区袋町4-23,24,25,26	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	850 人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年1月 予定	評価の実施日	2022年11月14日
敷地面積	1,862 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社日建設計 十文字萌
建築面積	1,301 m <sup>2</sup>	確認日	2022年11月18日
延床面積	16,585 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社日建設計 久保田敬亮



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 温暖化影響チャート	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 3.0</b></p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆</p> <p>30%: ★☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆☆</p> <p><b>標準計算</b></p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b></p> <p><b>Q のスコア = 4.1</b></p>		
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>Q1のスコア= 3.7</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>Q2のスコア= 4.3</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>Q3のスコア= 4.5</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b></p> <p><b>LR のスコア = 3.9</b></p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>LR1のスコア= 4.1</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>LR2のスコア= 4.2</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>LR3のスコア= 3.4</p>

3 広島市の重点項目		
<b>重点項目の総平均スコア = 4.1</b>		
<p>「地球温暖化対策」の推進</p> <p>スコア = 4.3</p> <p><b>設計の計画上特段に配慮した事項</b></p> <p>庇と複層ガラスを使用することによって高い外皮性能とした / 自然換気の有効性を知らせるランプによる、手動の自然換気が行える計画とした / 高効率PACの採用を行った / 中央監視設備に主要な設備のエネルギー使用量を取り込み、効率的に運用改善ができるような計画とした / 雨水利用システムの採用やリサイクル材の採用を行った / 高効率機器、自然エネルギー利用等により、ライフサイクルCO<sub>2</sub>を削減する計画とした</p>	<p>「ヒートアイランド対策」の推進</p> <p>スコア = 3.8</p> <p><b>設計の計画上特段に配慮した事項</b></p> <p>ピロティ空間や庇の計画、外構の緑化等を行った / 適切な量の駐車・駐輪台数の確保をした</p>	<p>「長寿命化対策」の推進</p> <p>スコア = 3.9</p> <p><b>設計の計画上特段に配慮した事項</b></p> <p>内外装、設備ダクト・配管等に耐久性の高い仕上げを使用した / 更新のための適切なスペース計画や搬出入計画により、設備の更新性を確保した</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される